

2024~2025カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
4月	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30			
5月	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31
6月	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
7月	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		
8月	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30
9月	1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30				

（注）
 休館日
 企画展開催日

2024年度福島県立博物館利用案内

- 開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は火曜日)
 祝日の翌日(土・日にあたる場合は開館)
 6/25(火)は館内整備休館日
 12/2(月)～3/31(月)はトイレ改修工事のため休館
 ※12/2(月)～3/31(月)も土・日・祝日・年末年始(12/28～1/4)以外はお問い合わせいただけます。
 ※詳しくはカレンダーをご覧ください。

- 常設展観覧料／一般・大学生:280円(20名以上の団体の場合は220円)
 高校生以下:無料

※こどもの日5/5(日・祝)、県民の日8/21(水)、敬老の日9/16(月・祝)、文化の日11/3(日・祝)は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
 ※学校教育に基づく活動として観覧する場合の大学生および引率者、公民館等の団体は、事前の申請(観覧日の3営業日前まで)により、常設展料金の減免措置が受けられます。観覧料免除申請書は当館ホームページよりダウンロードいただけます。

- 企画展観覧料 企画展開催中はこの観覧料で常設展もご覧いただけます。(会期中有効)

展覧会名	企画展 幕末明治の浮世絵百年 —大江戸の賑わい—	企画展 縄文DX —会津・法正尻遺跡と交流の千年紀—	企画展 ふくしまの酒造り —酒を醸し和を醸す—
会期	4月27日(土) ～6月16日(日)	7月6日(土) ～9月1日(日)	9月21日(土) ～12月1日(日)
一般・大学生	1,000円(800円)	1,000円(800円)	1,000円(800円)
高校生以下	無料	無料	無料

※()内は20名以上の団体料金

- 年間パスポート／有効期限:ご購入日より1年間 料金:2,000円
 販売場所:福島県立博物館受付カウンター

※当館の常設展・企画展を何回でもご覧いただけます。(企画展は福島県立博物館主催のみ有効)
 ※パスポートのご使用は氏名欄に署名されたご本人に限ります。他人へ譲渡または貸与することはできません。
 ●友の会／ご入会いただきますと、『友の会会報』や広報紙『なじよな』の送付などの特典が受けられるほか、古文書愛好会や化石・鉱物探検隊、考古学倶楽部、仏像に親しむ会といったサークル活動にご参加いただけます。

- 雪国ものづくり食堂 つきない 営業時間:9:30～16:30 ※営業は博物館開館日



- JR会津若松駅から約3km
 ・タクシーで約10分
 ・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
 ・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
- ♿ 車椅子使用者用駐車場 博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
 一般駐車場内博物館入り口側:3台
 ※ご不明の点はお問い合わせください。

福島県立博物館 Fukushima Museum

お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986

〒965-0807 会津若松市城東町1-25
 HP <https://general-museum.fcs.ed.jp/>
 e-mail general-museum@fcs.ed.jp

県博

令和6年度
展示案内



Exhibitions FUKUSHIMA MUSEUM 2024



- A 総合受付・チケット販売
- B エントランスホール
- C 総合展示室
- D 三の丸アベニュー
- E 部門展示室
- F 企画展示室
- G 雪国ものづくり広場
なんだべや
- H 売店
- I 図書コーナー
- J 雪国ものづくり食堂
つきない
- K コインロッカー
- L 休憩室
- M トイレ
- N ベビーケアルーム

企画展

- 幕末明治の浮世絵百年 —大江戸の賑わい—
4月27日(土)～6月16日(日)
- 縄文DX —会津・法正尻遺跡と交流の千年紀—
7月6日(土)～9月1日(日)
- ふくしまの酒造り —酒を醸し和を醸す—
9月21日(土)～12月1日(日)

※都合により予定が変更になる場合があります。
 ※講座・イベント情報は、ホームページ及び広報紙『なじよな』をご覧ください。

表紙:「ふくしまの酒」菰樽(写真提供:福島県酒造組合)
 「会津清酒」菰樽(写真提供:会津若松酒造協同組合)
 けんぱく編(会津木綿当館オリジナル縞柄)

福島県立博物館
Fukushima Museum

春の企画展
幕末明治の浮世絵百年 ー大江戸の賑わいー
会期:4月27日(土)~6月16日(日)

幕末から明治時代にかけて流通した浮世絵をご紹介します。インターネットやSNSどころか写真さえ普及していなかった時代に浮世絵は、流行や文化を伝えるメディアツールとして庶民に親しまれました。浮世絵の絵師として著名な葛飾北斎や歌川広重、明治時代の浮世絵の第一人者といわれる月岡芳年らの作品が並びます。



葛飾北斎「諸国名橋奇覧すほうの国きんたいはし」(中右コレクション)



月岡芳年「風俗三十二相 遊歩がしたさう」(部分) (中右コレクション)

夏の企画展
縄文DX ー会津・法正尻遺跡と交流の千年紀ー
会期:7月6日(土)~9月1日(日)

縄文時代中期の約1000年間の長きにわたり営まれた会津磐梯山麓の法正尻遺跡。出土品は我が国の重要文化財の指定を受け、今年でちょうど15周年を迎えます。大量に出土した装飾性豊かで複雑な文様をもつ縄文土器から、地域の拠点としてあり続けたこのムラを行き来したダイナミックな交流を読み解いていきます。



法正尻遺跡出土縄文土器 (福島県蔵 国指定重要文化財)

秋の企画展
ふくしまの酒造り ー酒を醸し和を醸すー
会期:9月21日(土)~12月1日(日)

酒どころ・福島県。実は酒造免許を持つ神社の多さは日本一。いわゆる「どぶろく祭り」として、今なお地域の人々の手で御神酒(おみぎ)が醸されています。加えて、会津地方は近世には藩直営の酒蔵が造られ、古い酒造家も多く、酒造家を中心に文化・芸術が開花しました。さまざま切り口でお届けする、当館初の「酒」の企画展です。



長谷川雪堤筆「酒」字図(個人蔵・当館寄託)



田島祇園祭おとや組のどぶろく仕込み (撮影場所:南会津町 2023年7月)

よみがえる会津大塚山古墳
会期:4月2日(火)~5月26日(日)
10月5日(土)~12月1日(日)

展示場所:部門展示室 考古

東北地方で唯一の「三角縁神獣鏡」をはじめとする、会津大塚山古墳の豊富な出土遺物が一堂に並びます。日本古代史上でも重要な会津大塚山古墳とはどんな古墳なのか、わかりやすくご紹介します。



会津大塚山古墳出土三角縁神獣鏡 (会津若松市蔵・当館寄託、国指定重要文化財)

けんぱくの宝 ー会津の絵画ー
会期:4月6日(土)~6月2日(日)
展示場所:部門展示室 歴史・美術

福島県立博物館の美術工芸収蔵品からおすすめの逸品をご紹介します。「けんぱくの宝」。今回は会津藩のお抱え絵師やその系譜を継ぐ画人たちの作品を中心に展示します。会津の「じみふかい」作品をお楽しみください。



永峯伊水筆「関羽図」(星陽子氏寄贈・当館蔵)

三島町荒屋敷遺跡を考える
会期:6月1日(土)~9月29日(日)
展示場所:部門展示室 考古

荒屋敷遺跡から出土した縄文時代晩期の木製品や漆製品の保存修復事業の成果を紹介しながら、奥会津の縄文人の資源利用とものづくり技術について考えてみたいと思います。



人面付き土版(三島町蔵・当館寄託、国指定重要文化財)



寄託後、初公開!

祈りのふくしま8 ー個性豊かなほとけたちー
会期:6月8日(土)~7月21日(日)
展示場所:部門展示室 歴史・美術

ほとけさまには、「~如来」などの他に、様々な願いや役割に応じたユニークな存在が多くいます。今回の「祈りのふくしま」では、そうした個性的で魅力的なほとけさまの姿をご紹介します。

吉祥天立像(個人蔵・当館寄託、国指定重要文化財、画像提供:東北大学大学院文学研究科東洋・日本美術研究室)

美しき刀たち
会期:7月27日(土)~9月23日(月・祝)
展示場所:部門展示室 歴史・美術

刀剣の魅力をお伝えしている「美しき刀たち」展。会津の刀工の作を中心に紹介します。会津の刀匠を代表する名工・三善長道。関の兼定の流れをくみ、幕末に新選組副長・土方歳三の愛刀を鍛えた11代兼定。中条道辰、角元興などそれぞれの刀匠の個性をお楽しみください。



刀 銘 陸奥大掾三善長道(米山重郷氏寄贈・当館蔵)



蒲生氏郷画像 (西光寺蔵・当館寄託、国指定重要文化財)

蒲生氏郷と会津の茶陶
会期:10月1日(火)~10月31日(木)
展示場所:部門展示室 歴史・美術

会津時代の蒲生氏郷の事績をたどりながら、後世に遺した政治や文化について考えます。江戸時代前期より会津藩の奨励をうけて藩窯として発展した会津本郷焼の茶陶も展示します。

酒をとりまく美術 ー酒がむすぶ文化ー
会期:11月2日(土)~12月1日(日)
展示場所:部門展示室 歴史・美術

大正時代、喜多方地方の商工業者が中心となって結成された喜多方美術倶楽部は会津に多くの芸術家を招き、地域の文化振興に大きな役割を果たしました。商工業者の中で酒造業者の活動は盛んで、倶楽部代表の実業家田代藤陽もまた酒造業を営んでいました。喜多方美術倶楽部関連作品、大正から昭和前期の会津ゆかり、日本酒ゆかりの日本画をご紹介します。



菊漆絵提重(当館蔵)



小川芋銭筆「飲中八仙図」(当館蔵)

※総合展示室は当面、観覧休止となっております。再開日が決まりましたら、福島県立博物館ホームページにてお知らせします。

恐竜を発掘するには
7月20日(土)~10月23日(水)
部門展示室 自然



モンゴルでの恐竜発掘

触って観よう
ー障がい者をめぐるあそび・まなびー
7月17日(水)~9月1日(日)
エントランスホール



視覚障害者将棋 将棋盤と駒(当館蔵)

みんなの震災遺産
8月10日(土)~9月8日(日)
三ノ丸アベニュー



一時避難所跡(撮影場所:浪江町)

友の会化石鉱物探検隊
ミニ成果展
9月14日(土)~11月24日(日)
エントランスホール



貝化石を置換した方解石と沸石 (撮影場所:南相馬市)

会津木綿の世界
10月8日(火)~11月10日(日)
三ノ丸アベニュー



縞柄見本綴(当館蔵)